



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 研究報告 1994, 7

ISSUE DATE:

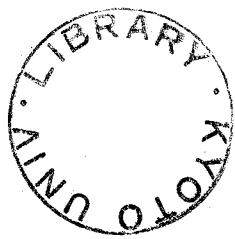
1994-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/134395>

RIGHT:

BNC
F
JLA 173



研 究 報 告

第 7 号

「しばしばそれは絶望的な対話なのです」……………飛鳥井 雅 友 (1)
——パウル・ツェラーンにおける対話の概念をめぐって——

時間の渦……………吉 田 孝 夫 (31)
——R・M・リルケ『新詩集』の数篇から——

ヨーゼフ・ロートの『右と左』……………片 桐 智 明 (83)
——二つの方向——

1994

京都大学大学院独文研究室

研 究 報 告 第 7 号

非 売 品

1994年 3 月発行

発行所 京都大学文学部独文研究室

〒606 京都市左京区吉田本町

郵便振替 01060-2-38520

印刷所 昭和堂印刷所

京都市左京区百万遍交差点上ル東側